

出題意図

総合政策学部では、入学者の受け入れ方針として、(1)現代社会における多様な事象を把握するための前提知識として、高校卒業相当の基礎的かつ全般的な学習内容を身に付けている人。特に読解力（英語を含む）、文章作成能力、基礎的な数学的思考能力を重視することとしている。(2)社会や自然環境等に広く関心を持ち、それらの理解に必要な情報を収集できる。さらに収集した情報を適切に関連付けながら問題を発見し、その解決策を導くための論理的思考能力を身に付けている人、(3)自分の考えを適切に表現し、積極的に他者の考えを理解しようとする人を求めている。

本問題は、上記受け入れ方針のもと、近年大きな問題となっている「外来種問題」をテーマとして、設問等から、読解力、(英語を含む)、文書作成能力、基礎的な数学的思考能力を計るとともに、外来種に係る様々な問題を発見し、解決に向けて試行できるか、また、外来種問題から地域の持続的な発展を考えることができ、生物学、生態学にとどまらず、社会学、倫理学など様々な分野から総合的に探求し、問題を解決しようという思考プロセスを具備しているかどうかを計ろうとするものである。

- 1 本問題は、外来種に関する基本的な定義等について問う問題で以下の問いの導入部となるものである。文章を正しく読解できる読解力を確認するものである。
- 2 本問題は英文の読解力を見る問題である。単に和訳するだけではなく内容を理解できるかを問う問題とした。
- 3 本問題は、グラフや表を読み取る基礎的な能力があるかを問う問題である。また、生物の増殖速度についての理解を助けるものでもある。
- 4 本問題は、外来種が増える原因や対策について、文章を読み取りまとめる力を確認するための問題である。また地域の視点が必要であることを理解するための設問でもある。
- 5 本問題は、資料A～D全体を見て、外来生物対策について、「持続可能な地域づくり」、「生物多様性」、「命」などの多様な観点から検討し、総合的に自分の考えをまとめられるかを問う問題である。

解答例と採点基準

1

(1) もともとはその地域にいなかったのに、人間の活動によって他の地域から連れてこられた生き物のこと (46字)

(2) 生物多様性への影響だけではなく、経済や健康への影響も加味して人間活動に悪影響を与えるもの。(43字)

2

外来種をすべて殺してしまうことが容易であるが、時に侵入者である種が日本以外の地域では希少であることがあるため。中国産のシナサンショウウオは中国では保全の配慮が必要とされているが、京都の鴨川では日本の在来種オオサンショウウオと競争し交雑によって脅かされている。(129文字)

以上のような内容の表現がなされていればよい

3

(ア) 10 (イ) 115 (ウ) 0

4

山林の管理を怠り、里山というものを放棄したことによって、人間社会と自然との境界線が曖昧になってしまったこと、明治の文明開化、戦争などを経て日本の国際化が進み、輸入に頼っている。輸入量が増えるとともに、虫や動物も入ってくる機会が増えていること (120字)

5

- ・外来種は人の営みによって持ち込まれたもので、人の役に立つものもあれば人などに危害を及ぼすものもあること。
 - ・外来種の中には、さまざまな問題を起こすものがあり、対策が必要であること
 - ・一方で、ある地域では問題を起こしているが、全体としては希少となっている種があるなど、対策を考えるためには様々な観点から検討する必要があること
 - ・最終的には、「地域」が決める必要があること
- がまとめてあることが必要であり、かつ、自分の意見が述べられていることが必要。

採点基準：外来種問題について自分の考えが理論的に記述されていること

自らの主張について、その根拠が資料に依拠していると加点